

自己評価を踏まえ、評価という点で意見をいただき対応策について話し合う

自己評価を踏まえて会議における評価を実施して結果を記入

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
Ⅰ.理念・安心と安全に基づく運営							
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常的な交流はできていない所が多いが、地域とのつながりを持てるようスワン通信や行事の参加を行っている	フェスティバルの参加、茶の間の参加 スワン通信が定期的に回覧板で回ってくるので、地域に定着しつつある。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議で活動状況や取り組みについて報告、参加者からいろんな意見を聞いて支援に活かしている	会議で報告されているため、情報が発信されているように思う。顔を合わせた意見交換ができています。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	わからないことや疑問に思ったことは市役所に電話で連絡し相談している。今後も協力関係を築けるように取り組んでいきたい	去年と変わりなくできている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	㊟. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束防止の研修を年に2回行っている。夜間の扉の施錠は運営推進会議内で報告し意見を聞いている		㊟. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	トラブルはなく、法定基準に基づいて研修を行っています。玄関の施錠についても、報告相談を繰り返し、定期的に見直しをしています。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	高齢者虐待防止の研修を年に2回行っている。その際虐待の芽チェック表を行い虐待が見過ごされないように注意し防止に努めている		㊟. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	トラブルはなく、法定基準に基づいて研修を行っております。今年度から義務付けられた虐待防止委員会も設置し、研修時に集まって話し合いを行い記録を取っています。
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議を2か月に1回開催。皆さんから意見を聞いて反映させている		A. 十分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の方が町内の一員として参加して下さり、また、ご家族からの意見、地域包括の職員さんからの意見を聞いています。
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員が働きやすいように環境や条件の整備に努めている		A. 十分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	就業規則、雇用契約書等の書類をもとに本部から指示をもらいながら職場環境に努めている。

12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症実践者研修年に1回受ける機会を設けている。法人内の研修は定期的に行っているが外部研修を受ける機会が少ないので機会を確保したい		A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内外で研修を1年ごとに決め、また、1人簡研修計画書を作成し働きながら日々学べる環境を行っている。
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	馴染みの場所に行ったりできないがご家族との関係はもちろん県外のご家族など希望時に面会できるように支援している	コロナ感染予防がまだ続いていることでできない部分もあるができる範囲で行われていればよいと思う。		

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	3か月に1回サービス担当者会議を行い、ご家族や本人にプランの確認希望を聞いている。職員間でも意見を出し合って介護計画を作成している。	3ヶ月ごとの定期の確認をご家族と行っていることはいいと思う。	A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	パソコンのソフトで介護計画書を作成しており、短刀職員、計画作成担当者が連携してモニタリングを行い、介護計画書を作っている。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	記録は細かく記入するようにしているが、記入漏れがある為今後注意する		A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	パソコン入力で介護ソフトを活用している。情報共有もパソコンで可能な部分をもっと活用していきたい。
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入退院時、情報交換を行っている。また病院の相談員と連絡を取り早期退院ができるよう支援している		A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	必要があれば、所長、計画作成担当が病院まで出向き、連絡を取り合いながら入退院の調整を行っている。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族に十分説明している。かかりつけ医とも相談し、支援に取り組んでいる		A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後のどのような介護が必要になるかなどを説明しているが、はじめのうちはどの程度まで支援してもらえるのかわかりにくい。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域との協力体制は難しいが、年に2回昼間、夜間想定で避難訓練を行っている。昨年は地域の方にも様子を見てもらい意見を聞くことができた	今後も地域の行事にできる範囲で参加し、継続して行ってほしい。	A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	町内は町内の高齢者率が高いので施設は施設で対策するようといわれており、町内でも課題が多いと感じている。

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重 とプライバシーの 確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライ バシーを損ねない言葉かけや対応をして いる	A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の話を傾聴し言葉かけに 気を付けて対応している		A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	9 人の入居者の方一人一人の性格をよく知り、 それぞれにどのような声掛けしたらいいかと気を 付けながら対応している。
28	食事を楽しむこと のできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひと りの好みや力を活かしながら、利用者と 職員が一緒に準備や食事、片付けをして いる	A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節が感じられるように旬の食材 を提供している。毎回ではないが お手伝いしてもらったり一緒に準備 してもらうこともある		A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節の食材を使い、季節が感じられるように食 事に興味を持てるようにメニューを考えている。利 用者の好みについても把握したり嚥下状態を日々 確認している。準備片づけはできる時にやってもら っている。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎 食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力 に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後、口腔ケアの声掛けや介 助を行っている		A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自分でできる方は自分で歯磨きをしているので わかりにくい、介助する方は観察している。今 後、歯科検診も考えている。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一 人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を 活かして、トイレでの排泄や排泄の自立 にむけた支援、便秘の予防等、個々に応 じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄のパターンがつかめない方 がいるためあまりできていない意 見はあったが一人一人時間を見て 誘導し予防に取り組んでいる		A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄のパターンがつかみにくい方に対しても職 員が排泄チャック票などを使い、情報共有を行い、 一人一人を観察している。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副 作用、用法や用量について理解してお り、服薬の支援と症状の変化の確認に努 めている	A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ものみやま薬局と連携し、薬の目 的や副作用についてその都度確認 している。きちんと服薬できるようマ ニュアルに沿って支援している。		A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	誤薬の事故もあったが、その都度服薬マニユア ルを変えたりヒューマンエラーが出ないよう整備を 行っている。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸 外に出かけられるよう支援に努めてい る。また、普段は行けないような場所 でも、本人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かけられるよう に支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている ㊟. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常的には外出はできていない が気分転換に外に出たりご家族と 外出できるよう支援している。地域 の協力は得られていないため今後 も働きかけが必要	希望があったらやっていきたい。		
39	居心地のよい共用 空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわ かる力を活かして、安全かつできるだけ 自立した生活が送れるように工夫してい る。共用の空間が、利用者にとって不快 や混乱をまねくような刺激がないように配 慮し、生活感や季節感を採り入れて、一 人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫 をしている	A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人に配慮し安全にかつ自 由に移動できるよう居室の配置を 工夫している。共有の空間では季 節を感じられるよう装飾したり外出 での写真を飾るなどの工夫を行っ ている		A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人に配慮することで居室でも共有スペー スでも入居者の方が安全に楽しく生活できている と感じる。

IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬は施設で管理し、受診の支援を行っている。毎朝バイタル測定で体調の変化に注意している。		A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日のバイタル測定から受診、薬管理まで介護職員が出来る範囲で行い、週に 1, 2 回看護師が来た時に心配事を相談していたため困ったことはない。
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができる	A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本やぬいぐるみなどなじみの物やたいせつにしているものを居室に置いている		A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	馴染みの物を大切にしていることで安心して生活できていると思います。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出はすぐに対応できていない。毎月の行事や外出行事で楽しんでもらっている。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員や他者と楽しく会話できている。ご本人の希望に沿って活動場面も得るように声掛けしている。		A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	体操や、お茶を飲みながら会話したり、歌を聞いたり休みたいときは休むことができマイペースに楽しめているように感じる。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 充分にできている B. ほぼできている ㊟. あまりできていない D. ほとんどできていない	近隣や地域の人々との交流はあまりできていない。今までコロナで開催されなかった地域の行事に去年から参加、今後も継続していきたい	今年度から町内会長が運営推進会議に参加して下さったのは大きな進歩なので今後も継続して地域とのつながりを持てるように。回覧板を回してもらえよう働きかけをしてはどうか。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域との交流は今後も進めたい。グループホームにいて職員や他者と親しみ安心して生活できていると思う	特にトラブルを聞いたことがなくアットホームな感じを受けています。	A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域交流をすすめながら安心して生活できるグループホームを目標にしていきたい。